

5, 活動の様子

○ 田んぼの働きとは

台風一過の田んぼには、水が貯まっていました。

初めてのことで、私はちょっと不安になりました。「水の中の稲刈り、大丈夫かな？」

でも、それは私が田んぼについて何も分かっていないということでした。

一つは、稲刈りで雨に遭うのは当たり前のこと。だから、宅間さんは、「稲穂を水に濡れないように、畦の上に置いていってください」と教えてくれました。

もう一つは、雨水を溜める田んぼの働きを、目の前で教えてくれていることでした。

この雨水が田んぼに貯まっているからこそ、用水路の水位に変化はなく、どこにも浸水していないのです。そして、お昼頃には、田んぼの水は少なくなっていました。

これこそが、田んぼの重要な働きの一つなのです。

田んぼで一度貯めゆっくり排出することや地下にしみ込ませる働きは、洪水防止であり地下水の保全に役だっているのです。

最近の都市洪水のニュースと比較すると、はっきりわかります。

台風一過の水の貯まった稲刈りに、米の収穫以外の田んぼの重要な働きについて、私たちは目の前で教えられたのでした。

○ 新米のお味は？

*栗原 一杯目は 梅干しで
二杯目は 卵かけで
三杯目は 納豆で
食べました。

*高松 3日連続で食べています。
いつも美味しいご飯を食べているつもりでしたが、
新米は段違いで驚きです。
龍馬も「甘くて美味しい！」と、感動しながら食べています。

*栗田 新米は匂いも良く、艶があり、粘りけがあって、美味しいです。

*稲川 新米、食べました。
なかなか手に入らなかった昨年があるから、お米の大事さが身にしみ
てわかりました。より一層、貴重に大事に食べようと思います。
炊いている時から香りがちがうと思いました。
新米だから水分も多く香りも良く、大変美味しく頂きました。

*古高 艶・香り・味どれもすごい！
妻は「卵かけにする！」
備蓄米を食べていた我が家では、すぐに宅間さんの新米に換えました。
妻、「備蓄米は、いつだっていいんだから」と。

○ JAXA見学

世界15ヶ国が協力して宇宙開発に携わっているという。

説明員による展示館ガイド（無料）とバスによる見学ツアー（有料）があります。

宇宙に目を向ける良い機会になりそう！

6, ふり返りの感想

- いねかりで、いねをかったらどんどんかえるがでてきて、つかまえようと思ったら、にげたりにながしたりしました。ジャクサで、うちゅうで人がどうやっていきてるのかをしりました。いねかりで たくさんいねを かりました

新田小2年

- 今年も、古高先生をはじめ、のらえもんの皆さんと稲刈りをできたことに感謝します。
田植えから稲刈りまで体験することで、改めてお米一粒一粒のありがたさを痛感しました。
田んぼの中で、コオロギやザリガニ・カエルなど様々な生き物との出会いもあり、子どもたちは夢中になってつかまえていました。
日本の田園風景は、未来に残していかなければと思います。
JAXAでは、なかなか入れない場にも入ることができ、とても興味深く話を聞くことができました。ありがとうございました。
強い日差し みんなで稲刈り 光る汗

母

- いねかりで、いねをかっていたらかえるがでてきて、びっくりしました。いねかりで たくさんいねを かりました

東伊興小2年

- たのしかった。

伊興保育園年長 なかやま そう

- 4回目の参加でしたが、毎回、米になる（稲になる）事に感動し、ありがたみを感じています。
園で育てている稲よりもず〜っと立派な稲穂を見て、土壌の管理や日々の手入れ、どれほど大変な作業をされているのだらうと感じました。
JAXAも、とても興味深かったです。
ありがとうございました。
5歳児の かえるのために 稲をかる

鹿浜こども園

- 9月でも、暑さの厳しさが身にこたえますが、農業をされる方の苦労が、ほんの少しですが見えて、本当にありがたいことだと思いました。
JAXA、とても楽しかったです。
お酒のない「お楽しみ」も、よいものですね。
新米の 炊きたてごはん ありがたや

五中1年
母

- 宇宙空間で、指サイズのマウスを利用して実験していて
重量が小さいからとばしやすいためなのかなと思った。
小マウスと 地球をみるよ そらのたび

- 子どもが小さい頃、仕事で参加できなかった稲刈りを、大きくなった子どもと体験できました。
貴重な体験でした。ありがとうございます。
のらえもん 親子の時代（とき）を まきもどす

父

- まだ暑いけれど、秋の空のもとでの稲刈りは、収穫の楽しさで真剣になりました。
JAXAの見学は、宇宙飛行士さんのかくさをしました。
コンバイン 根こそぎ稲を 刈っていく

母

- 5月に植えた苗が大きくなって穂をつけているのを見て、感動しました。
カマで稲を刈る時の「ザク」という音が気持ち良かったです。
コンバインの稲刈りの早さには驚きました。
JAXA、以前から行ってみたいと思っていたところでした。
バスツアー見学できたのが、うれしかったです。
ザクザクと ノコギリガマで 稲刈りだ
- 今年も楽しかったです。
稲を刈る音、カマの切れ味が気持ちよかったです。
でも、腰の痛みや暑さなど、敵が増える中、ヤンマーコンバイン（?!）は救世主でした。
顔見知りの方も増えたのしいひととき、おいしいお米をありがたくいただきます。
秋の実り、プロはすごい！我が田は、未熟でした。
暑夏も去り 秋近いとも カマ重く
稲の金 海の青さに 勝るかな
稲刈りの 帰りに夕日 あたたかい

いりや第一保育園

- 小学校6年生の時以来の稲刈りが、とても楽しかったです。
自分で田植えから稲刈りまで（間はおまかせでしたが）経験することは、大人になってからも良い体験。脳に良し、心に良し、身体に良しの気持ちの良い汗をかきました。ありがとうございました。
子どもたちの喜ぶ姿も見られ、ほほえましく、子どもたちの（カエルやバッタを捕る）将来へ、何か響く一日になったのではないのでしょうか。
人と人とのつながりも感じるこののらえもんの会に、感謝いたします。
また、参加させていただきます！
みなさんの 心のこもった 宅間米

加賀保育園

- とても暑い日となりましたが、一日、お疲れ様でした。
そして、お世話になり、ありがとうございました。
玉のような汗をかきながら、お手伝い（お手伝いとまでいきません）をさせていただきながら、お米のありがたさと大切にいただくことへの思いが体の中に広がりました。
良い経験を、ありがとうございました。
まだまだ暑い日が続きます。
体をご自愛くださいませ。
黄金米 光汗つぶ ほころぶ笑み

加賀保育園

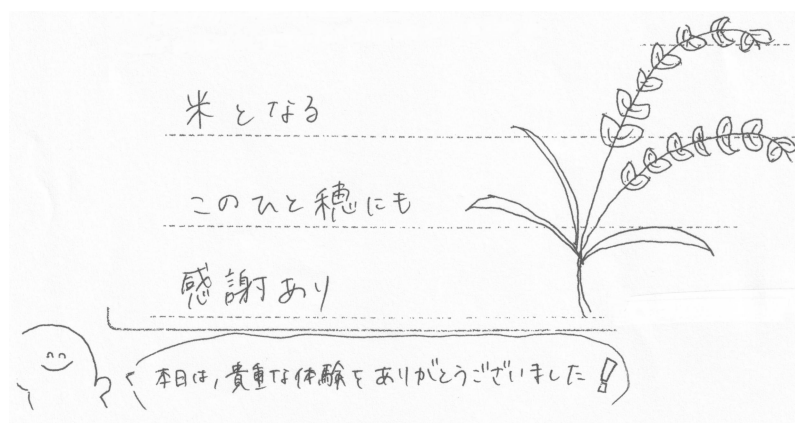
- 本日は、田植えに引き続き、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。
稲刈りの大変さ、そしてお米をつくってくださる皆様のありがたみをより感じられる良い一日でした。
ありがとうございました。
稲光 今年も無事に ありがとう

加賀保育園

- 今年のこの暑さでも立派に育った稲を見て、生産者の努力・苦労を感じました。
よりいっそうありがたさを感じます。頭が下がります。
お米が何より大好きなので、これからも日本でお米づくりがよりよい形で続いていってほしいと思います。
足元が水の稲刈りは大変でしたが、良い経験となりました。
ありがとうございました。
猛暑でも 負けずに育った ありがとう

加賀保育園

- 前回の田植えには参加していませんでしたが、今回稲刈りに参加し、とても大変な作業だなと感じました。
農家の方々が、愛情をたっぷり注いだお米を当たり前から普段から食べていましたが、色々な方々の努力によって食べることができるということを改めて感じ、一粒残さず愛情を込めながら頂こうと思いました。



加賀保育園

- 稲刈りの大変さを感じました。
機械化していても時間がかかり、その機械がない時代はどんなにたいへんだったのだろうと思います。
植えた一本の苗がたくさん分けつし、そのひと茎に100粒実をつけるという。
自然の不思議さを実感です。
初めて行ったJAXAは、とても楽しく見学しました。
肉眼で 見えたらいいな 宇宙ステーション

加賀保育園

- 稲刈りをすると、本当にお米の大切さがわかります。
稲刈りが終わって、古高先生からお米の話を聞いて、今日分けて頂いた2kg分も刈れていない事に気が付きました。
次回は、せめて2kg分は借りたいと思いました。
(ちなみに、44株の稲刈りをして、約2kgになります)
思うほど 稲刈りできず 老い実感

- 稲刈りは二回目なので、自分なりに刈るのと束ねるのが前回よりスムーズにできてうれしかったです。
同じ事を繰り返しやってみることは、やっぱり大事なんだと実感しました。
JAXAも面白かったです。宇宙飛行士の方たちって本当に本当にすごい人たちののだと尊敬しました。そして、いろいろな役割の方たちが一つの大きな仕事に携わる姿は、カッコいいなと思いました。
穂がゆれて バッタカエルが 飛び跳ねる

中央本町保育園

- 稲刈りでは、裸足で田んぼに入ってみました。
ヒヤ〜と冷たく気持ちよかったのですが、何度もツルッと身体のバランスを崩し、転ばぬようヒヤヒヤする場面がありました。
夢中で稲を刈り結ぶ作業は、毎年ながら楽しいです。
ありがとうございました。
田んぼの中に 裸足で入り 稲を刈る

中島根保育園

- あっちこっちにカエルぴょんバッタぴょん台風一過の田んぼを見る 古高 利男

- | | |
|---------------------------------|--------|
| ○ 安曇野をおし広げたり稲穂の黄 | 秋山 牧車 |
| ○ 落柿舎へ風匂うなり稲の花 | 北尾 久実 |
| ○ 陸稲刈る翁一人の日和かな | 竹内 俊吉 |
| ○ 早稲の香のしむばかりなる度の袖 | 橋本 多佳子 |
| ○ 山の湯へ中稲の畦を通りゆく | 上川 井梨葉 |
| ○ 晩稲田に音のかそけき夜の雨 | 五十崎 古郷 |
| ○ 落穂ひろふ軀はかくまで祈るものか | 本多 静江 |
| ○ 沼風やヒツジ（稲の株から生えるひこばえ）は伸びて穂をゆする | 石田 波郷 |